

2025 年 10 月 14 日

報道機関 各位

報道解禁:2025 年 10 月 15 日(水) 13:00(日本時間)

伝わらないのはもったいない！
「伝わる、つながる」発表力をはぐくむ取り組みを国際学術誌が掲載

◆本件のポイント！

- ・研究者が企画した、プレゼンテーション教育へのユニークな取り組みを、国際学術誌が掲載
- ・プレゼンテーション研修が、人と人、そして社会をつなぐ「ご縁結び」に役立つ可能性を提示
- ・今回の対面式プレゼンテーション研修は、研究者・学会・外部講師の結びつきにより実現

◆本件の概要

島根大学生物資源科学部の古水千尋准教授と理化学研究所環境資源科学研究センターの市橋泰範チームディレクターは、主催した対面式プレゼンテーション研修会の概要と将来展望をまとめた査読付き英語論文を発表します。参加者へのアンケートにより、高等教育における現在のプレゼンテーション教育が不十分であることが明らかになりました。さらに、本研修会は、多様な背景を持つ参加者間の協働を通じて、専門分野や世代を超えた人的交流を促進する可能性を示しました。

この論文は、学際的なオープンアクセス国際学術誌「Frontiers in Education」に 2025 年 10 月 15 日付でオンライン掲載されます。本英語論文の発表は、研修会の狙いと意義を国内外に広く紹介する画期的な成果であり、本取り組みのさらなる展開への道筋を拓くものです。

◆本件に関する写真と図



写真:ワークショップの様子

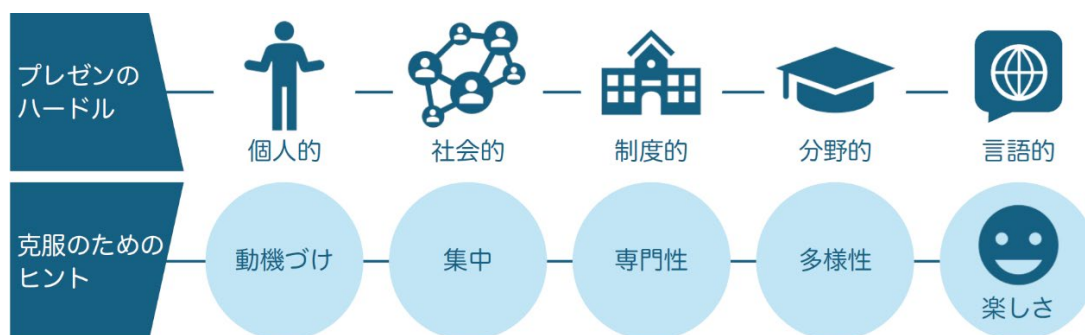


図:プレゼンテーションのハードルを克服するためのヒント

(上)プレゼンテーションのハードルには個人的、社会的、制度的、分野的、言語的な問題がある。

(下)本研修会は、参加者のプレゼンテーションスキルの向上を目的とし、これらのハードルを克服するために、動機づけ、集中できる環境、専門性、多様性、楽しさなどを提供する。

(本論文の図1A を改変の上、転載)© 2025 Furumizu and Ichihashi (CC BY 4.0)

◆概要内容

島根大学生物資源科学部の古水千尋准教授と理化学研究所環境資源科学研究センターの市橋泰範チームディレクターは、主催した対面式プレゼンテーション研修会の概要と将来展望をまとめた査読付き英語論文を発表します。論文は、学際的なオープンアクセス国際学術誌「Frontiers in Education」に2025年10月15日付でオンライン掲載されます。

本研修会「植物科学プレゼンワークショップ 2024 話そう！伝えよう！つながろう！」は、島根大学の古水千尋准教授（開催当時は広島大学 助教）、理化学研究所の市橋泰範チームディレクター（開催当時は理化学研究所 チームリーダー）、大阪大学の古谷朋之准教授（開催当時は立命館大学 助教）により企画され、一般社団法人日本植物生理学会の第65回年会の関連集会として、2024年3月17日（日）に神戸国際会議場にて開催されました。

高等教育や学術研究の現場では、研究発表、講演や講義、就職活動など、数多くのプレゼンテーションの機会が存在します。プレゼンテーションの質が、成績・業績評価、キャリア形成、研究資金の獲得など多面的な影響をもたらすにもかかわらず、日本の高等教育・研究機関においては、専門的なプレゼンテーション研修の機会は限られており、所属機関によっても異なるのが現状です。そこで本研修会は、所属を問わず誰もが、プレゼンテーション教育の専門家から指導を受け、プレゼンテーションスキルを磨く機会を提供することを目的として企画されました。研修内容は一般社団法人アルバ・エデュに委託し、同代表理事である竹内明日香氏が講師を務めました。

参加者へのアンケートによると、プレゼンテーションへの苦手意識を感じるかどうかにかかわらず、研究室内などでの個人的なフィードバックの機会の有無には有意な差は見られませんでした。一方、発表に苦手意識を持つ参加者ほど、体系的な研修機会を欠いている傾向がありました。これは、研究室内などでの個人的なフィードバックだけでは、発表に苦労している人々を支援するには不十分であることを示唆しており、本研修会のような体系的で包摂的なトレーニング環境を構築することの重要性が浮き彫りになりました。さらに、本研修会は、多様な背景を持つ参加者間の協働を通じて、専門分野や世代を超えた人的交流を促進する可能性を示しました。参加者からは、今後も同様の機会を提供してほしいとの要望が寄せられ、学術集会におけるプレゼンテーション研修の必要性がうかがえます。本論文では、これらの知見やその背景について詳細に論じています。

なお、本研修会に続き、「植物科学プレゼンワークショップ 2025 英語で話そう！伝えよう！つながろう！」が第66回日本植物生理学会年会の関連集会として、2025年3月14日（金）に金沢大学で開催されました。両研修会を主催した古水、市橋、古谷は、プレゼンテーション教育を通じて植物科学の魅力を伝え、そのすそ野の拡大に貢献することを目指し、活動を継続していきます。

◆著者のコメント

論文投稿過程を通じて、プレゼンテーションの重要性が日本では十分に認識されていない一方で、海外では当然視されているというギャップを強く感じました。参加者がプレゼンテーションのチカラを磨き、活躍のチャンスを広げられる学びと交流の場を提供し続けることを目指しています。（古水）

今回の取り組み全体を通じて、とても楽しい経験になりました。古水さんのリーダーシップのもとでワークショップを企画し、実際にプレゼンテーションを学ぶ楽しさを体感し、さらにアンケート結果からこの取り組みの意義を確認できたことは貴重でした。そして教育系の国際誌に論文化されるまでのプロセスそのものが、プレゼンテーションというツールを通じた挑戦であったと感じています。この楽しさを、より多くの次世代研究者に伝えていきたいと思います。（市橋）

◆論文情報と著者

タイトル: Making a difference through presentations: Let's speak, communicate, and connect!

著者: Chihiro Furumizu and Yasunori Ichihashi

掲載誌: Frontiers in Education

DOI: [10.3389/feduc.2025.1465227](https://doi.org/10.3389/feduc.2025.1465227)

著者と所属:

古水 千尋(ワークショップ開催当時・広島大学 自然科学研究支援開発センター 助教、現・島根大学 生物資源科学部 准教授)

市橋 泰範(ワークショップ開催当時・理化学研究所 バイオリソース研究センター チームリーダー、現・理化学研究所 環境資源科学研究センター チームディレクター)

◆Frontiers in Education

Frontiers in Education(<https://www.frontiersin.org/journals/education>)は、世界的な教育課題に取り組む学際的な学術誌で、あらゆる社会が進歩的で民主的な未来を実現するために必要な革新と変革について議論する、国際的で、学術的な議論の場を提供することを目的としています。この学術誌に掲載されるすべての論文はオープンアクセスであり、誰でも自由に利用できます。

◆一般社団法人日本植物生理学会

日本植物生理学会は 1959 年に設立され、「植物の機能に関する科学」に携わる国内外の研究者に開かれた総合学術団体として、植物科学の振興、国際学術交流の促進、教育・研究環境の向上、ならびに一般への植物科学関連知識の普及を目的としています。毎年春に開催される年会には約 2,000 名が参加し、一般講演やシンポジウムを通じた活発な研究交流の場を提供するとともに、高校生研究発表の運営を通じて次世代育成にも取り組んでいます。1959 年から刊行している国際学術誌「Plant and Cell Physiology (PCP)」は、植物科学分野のトップジャーナルの一つとして、質の高い研究成果を掲載しており、2025 年度からは「MIRAI 2030 プロジェクト」を走らせ、国際活動を一段と活発化しています。また、科学的コミュニケーション向上に関する活動や一般向け質問コーナー「みんなのひろば・植物 Q&A」など、社会全体の科学リテラシー向上を目指して、積極的に活動展開しています。

◆一般社団法人アルバ・エデュ

アルバ・エデュは、子どもたちが将来の社会で活躍するために必要な「話す力」を育成することを目的とした一般社団法人です。コミュニケーション能力やプレゼンテーションスキルの向上を支援し、教育現場や地域、企業と連携して、学校や地域社会に向けた教育プログラムの提供、教員向けの研修など、広範な活動を展開しています。

◆本件の連絡先 ※[at]は@に置き換えてください

<研究に関するお問い合わせ先>

島根大学 生物資源科学部 古水 千尋(ふるみず ちひろ)准教授

〒690-8504 島根県松江市西川津町 1060

Tel: 0852-32-6444

E-mail: [chihiro.furumizu\[at\]life.shimane-u.ac.jp](mailto:chihiro.furumizu[at]life.shimane-u.ac.jp)

Website: <https://www.ipc.shimane-u.ac.jp/evobio/>

researchmap: https://researchmap.jp/chihiro_furumizu

理化学研究所 環境資源科学研究センター 市橋 泰範(いちはし やすのり)チームディレクター

〒305-0074 茨城県つくば市高野台 3-1-1

TEL: 029-836-9118

E-mail: [yasunori.ichihashi\[at\]riken.jp](mailto:yasunori.ichihashi[at]riken.jp)

Website: <https://hr.riken.jp/>

<島根大学の広報に関するお問い合わせ先>

島根大学 企画部 企画広報課 広報グループ

Tel: 0852-32-6603

E-mail: [gad-koho\[at\]office.shimane-u.ac.jp](mailto:gad-koho[at]office.shimane-u.ac.jp)

<理化学研究所の広報に関するお問い合わせ先>

理化学研究所 広報部 報道担当

Tel: 050-3495-0247

E-mail: [ex-press\[at\]ml.riken.jp](mailto:ex-press[at]ml.riken.jp)

<日本植物生理学会に関するお問い合わせ先>

一般社団法人日本植物生理学会

〒602-8048 京都市上京区下立売通小川東入西大路町 146 番地

Tel: 075-415-3661

E-mail: [jspp\[at\]nacos.com](mailto:jspp[at]nacos.com)

Website: <https://jspp.org>

<アルバ・エデュに関するお問い合わせ先>

一般社団法人アルバ・エデュ

〒112-0013 東京都文京区音羽 1-17-11 花和ビル 308

E-mail: [info2\[at\]alba-partners.com](mailto:info2[at]alba-partners.com)

Website: <https://www.alba-edu.org/contact/>